

パソコン用ハードディスクデータ消去ソフトウェアの第 2 回目の評価および  
認定の発表について

一般社団法人 中古情報機器協会 (RITEA)

我が国ではパソコンやサーバー等を中心に情報機器が大量に製造・販売されている一方、買い換えユーザーも増加しており、「リユース」(再使用)となる中古情報機器市場が拡大しておりますが、最近では、特に中古パソコンの流通台数が年々増加しております。この状況を踏まえ、当協会では、良質な中古パソコンの更なる普及を目指し、パソコンのハードディスクドライブ(HDD、以下同じ)内のデータを消去するソフトウェアの評価を行い、適切な対応をしているデータ消去ソフトウェアに対して認定資格を付与する「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」資格制度を実施することを定め、昨年 2 月に第 1 回目の評価・認定の発表を行いました。本日、第 2 回目の評価認定結果を発表致します。

パソコンは、膨大なデータの取り扱いをしておりますが、その HDD 内には大量のデータが保管されていることから、パソコンを売買・譲渡する場合は、情報漏洩の防止、特にその HDD 内のデータ消去が重要となっております。

良質な中古情報機器の普及を目指す事業者関係団体である中古情報機器協会 (RITEA) では、このような問題への対処方法として、平成 19 年 2 月に「情報機器の売買・譲渡時におけるハードディスクのデータ消去に関するガイドライン」を策定し発表致しました。

現在、我が国には多数のデータ消去ソフトウェア製品が存在しており、このガイドラインに対応したソフトウェアかどうかわかりにくい状況となっていることから、中古情報機器を取扱っている事業者等が安心して使用できるデータ消去ソフトウェアの具体化を目指すものとして、使用者側の立場からの評価による「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」認定制度を開始することを定め、昨年 2 月に、第 1 回目の「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」として、6 種の消去ソフトウェアを認定致しております。

調査の実施については、当協会が定めた「パソコン用HDDデータ消去ソフトウェア調査内容」添付資料による調査の実施を、評価用パソコンを多種類保有されている我が国大手のパソコンメーカーと別大手のパソコンメーカー関係会社の2社に依頼し、両社の調査結果で共に合格の判定が出たソフトウェアに対し、当協会が判断し、認定の資格を付与するものです。

資格を取得した事業者については、当協会WEBサイト（URL：<http://www.ritea.or.jp>）で本日以降順次公開致します。

今回、「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」資格を取得されたソフトウェアは、以下の2種であります。（有効期間は、平成23年1月末までの2年間）（ソフトウェア名の50音順で表記）

- (1) Anchor Erase Ver. 2.0. x   〔証明書機能無し版〕  
    （株式会社アンカーネットワークサービス）
- (2) DiskDeleter 4. x. x  
    （開発元：BluestSoft, Inc 販売元：株式会社エスコム）

上記ソフトウェアの名称については、本日以降当協会WEBサイト（URL：<http://www.ritea.or.jp>）でも公開致します。

なお、「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」資格を取得したソフトウェアの製品開発・販売元事業者は、当該ソフトウェア製品に対して、「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」ロゴをカタログや商品等に印刷して市場に告知することができます。

- ・「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」ロゴ例



RITEA 認定  
パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブ  
データ消去ソフトウェア  
E-xxxx (01)

なお、今後の「RITEA 認定パーソナルコンピュータ内蔵ハードディスクドライブデータ消去ソフトウェア」資格評価の実施は、別途、当協会Webサイト（URL：

<http://www.ritea.or.jp>) でお知らせ致します。

当協会は、良質な中古情報機器の認知度向上および普及活動を行い、今後も関係業界団体とも連携して、我が国の情報機器市場の発展に寄与致します。

また、当協会は、中古情報機器の活用が情報機器の長寿命化につながることや商品化の製造工程が省略できることの特徴を活かし、廃棄物発生抑制や CO2 排出削減といった環境・循環型社会への貢献も目指します。

- 本件に関するお問合せ窓口：一般社団法人 中古情報機器協会  
住所 〒105-0011  
東京都港区芝公園 1-3-5 ジー・イー・ジャパンビル 2F  
電話番号 03-5777-6603 (平日 9:30 ~ 18:00)  
担当 小澤
  
- Web サイト URL: <http://www.ritea.or.jp>

以上

※ 「一般社団法人 中古情報機器協会」(RITEA) の英語名称：  
「Refurbished (Reuse) Information Technology Equipment Association」

※※ 「中古情報機器協会」、「RITEA」及び  は「一般社団法人 中古情報機器協会」の登録商標です。

※※※ 今回評価を行ったパーソナルコンピュータ内蔵のハードディスクドライブは、全て IDE インターフェースとなっています。

添付資料

当協会が今回認定するパソコン用HDDデータ消去ソフトウェアの調査内容

(a) データ消去評価

(データ消去後、間違いなくデータ消去されていること。

評価としては、HDDの全てのセクタの内容について、消去ソフトウェアと別な専用ソフトウェア、または専用装置を用いて、消去確認を行う)

(b) OS非依存性評価

(HDDにインストールされたOSに依存せず、消去が可能であること。

評価としては、消去ソフトウェアがそれ自身で起動及び実行できることの確認を行う)

(c) HDD不具合検出評価

(HDDに何らかの異常があった場合に、それを検出できること。

評価としては、コントローラ異常やプラッタ (HDDの円盤部) 異常のサンプルHDDに対してデータ消去を行った場合に、エラーを表示し、作業を一度停止することの確認を行う)

(d) 処理終了メッセージ評価

(消去処理が終わった場合のメッセージ出力、または、ログ (履歴管理) ファイルに記録された内容が適切であること。

評価としては、正常終了または異常終了のメッセージやエラー情報が、表示またはログファイルに記録されていること等の確認を行う)

(e) 証明書機能評価

(データ消去後に、情報を収集してデータ消去作業終了 (完了) 書の電子データが作成できること、または、データ消去作業終了 (完了) 書の元となる情報を収集して、表示またはログファイルに記録することができること。この情報とは、①消去日付・時刻、②パソコン装置の型名、③パソコン装置の製造番号、④消去方式、⑤HDDの型名、⑥HDDのシリアル番号、⑦HDD容量を示す。

評価としては、消去ソフトウェアでこの作業が行うことができることの確認を行う)

から構成されていますが、ユーザー立会いにおける作業 (出張現場作業) 等でのHDDデータ消去を目的とするソフトウェアの場合は、上記 (e) 証明書機能は必ずしも必須ではない為、そのようなソフトウェアで上記 (a) ~ (d) 項の評価を満たしている場合は、〔証明書機能無し版〕としての資格を付与致します。

以上